一般質問という名の政策提案

鈴木詠子（すずきえいこ）議員

追跡！ 過去の定例会でも質問
H29.12月定例会、H27.9月定例会
H25.3月定例会

政策提案

未来の一票へ「親子連れで投票を」

多数が参画できる工夫を

問 親子連れでの投票を経験した人は、経験のない人より20％投票率が高いと言われています。子どもの将来の投票に直結するよう、親子連れの投票の「記念証や記念品の配布の実施」や、成り手不足の投票立会人へ18歳以上の学生に募集をかける「若者参画」等、多くの人が選挙に参画するための取り組みを伺います。

今後も選挙手帳等で推進

答 現在は町オリジナルの「選挙手帳」を推進。今後も引き続き投票率向上の環境を整備していきます。

R5統一選では「うまい棒」で啓発も

本間政道（ほんまままさみち）議員

追跡！ 過去の定例会でも質問

政策提案

住宅への防犯カメラ補助金制度を

より安全・安心のために

問 近年、高齢者・独り住まいの個人宅を狙った空き巣や強盗などが多くなっています。犯罪の抑止やその後の対処に防犯カメラは大変効果があり、埼玉県内でも多くの自治体が補助金施策を行っています。

寄居町でも、高齢化等の面からもさらなる安全施策が必要と考えます。防犯カメラの活用による犯罪抑止施策を提言します。町の考えを伺います。

調査・研究する

答 必要性・有効性の研究の後、導入検討します。

個々の防犯対策も必要！

キリトリ

保泉周平（ほずみしゅうへい）議員

追跡！ 過去の定例会でも質問
R4.9月定例会

政策提案

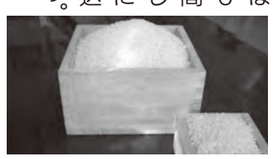
「コメ騒動」現物足りず価格高騰！

主食米価格の物価指数は

問 町内の米の生産は、農家の高齢化により作付面積が減少しています。そのような中、全国的に米の品薄が続き、購入するのが一時困難になり、現在でも価格の高騰が続いています。町内の流通価格と高値収束の見込みを伺います。

今後も続く購入価格アップ

答 町の米生産者の状況は65歳以上が50％以上で担い手不足が窺（うかが）えます。米の消費者購入価格は5㎏で3000円超。物価指数は139・6と高く、高値収束はしばらく先になると見込んでいます。


コメは食生活でのバロメーター！

笠原則夫（かさはらのりお）議員

追跡！ 過去の定例会でも質問
R5.6月定例会、R4.9月定例会
H30.12月定例会

政策提案

創意工夫で婚活パーティーの継続を

マンネリ化への対策は

問 昨年11月開催の「よりいまち秋の縁結び婚活パーティー」の結果を伺います。またパーティーのマンネリ化への対策はどのように考えていますか。

カップル成立50％

答 19人参加で5組（50％）のカップルが成立しました。マンネリ化については、イベント内容の工夫は重要である一方で、定期的に開催することで浸透していくメリットも考えられます。引き続き研究していきます。

少しの勇気が人生を大きく変える！

委員会視察レポート

先進自治体を視察することで、町の中だけでは知り得ぬ多くの情報を得ることができます。各常任委員会の「先進地視察」を報告します。

総務経済　研究テーマ「町のDX推進と町内調査」

D（デジタル）は手段、X（変革）を主体に考える

視察先　東京都青梅市

調査内容　**マイナカードで変革を推進**

青梅市では、令和3年からマイナンバーカードの保険証利用登録支援を開始。現在、被保険者の59.4％（そのうちの後期高齢者は60.9％）がマイナンバー保険証を登録済み。他、マイナポータル経由で名簿登録地以外の市区町村へ不在者投票等の投票用紙請求ができるなど、独自の利用も促進。職員研修では「D＝デジタル」ではなく、「X＝変革」を主体に「意識改革」を推進。令和6年2月には、（株）電通総研と協定を結び課題を協議している。

視察後考　管理職の意識改革

全庁的な推進のためには、特に「管理職の意識改革」が重要。行政サービスの向上のための研修等に力を入れるべき。

他視察地：東京都府中市「未利用地の活用について」

寄居町でも「書かない窓口(＊)」が令和7年1月6日からスタート。引き続き意識改革を進めたい。

ことば　マイナンバーカードや運転免許証等を機器に読み込むことで、申請書の「手書き」負担を軽減する行政サービス。

「書かない窓口」を始めました！（町HP）

文教厚生　研究テーマ「小中一貫教育及び部活動の地域移行」

子どもたちが望む「学校」とは？

視察先　埼玉県春日部市立江戸川小中学校

調査内容　**県内初の義務教育学校を視察**

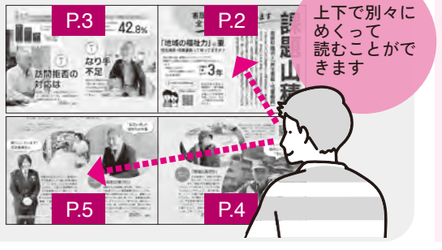
春日部市では、平成25年「春日部市小中一貫教育及び学校再編に関する基本方針」を策定。翌年には地域住民による任意で「庄和北部地域学校検討協議会」が発足。その後、庄和北部地域の児童生徒にとって望ましい教育環境等の検討がされ、平成31年に埼玉県初の義務教育学校として開校。小学校2校中学校1校を統合し、6年目を迎えた。

江戸川小中学校（全校生徒200人）
1～4年生「ジュニア」。
5～7年生「ミドル」。
8～9年生「ハイ」。

視察後考　教育活動の精査を

「義務教育学校」にも、メリット（中1ギャップの解消等）デメリット（授業時間の確保等）があり、それぞれの教育活動の精査が必要。

他視察地：埼玉県白岡市「部活動の地域移行」

楽しむ 新・議会だよりの読み方

切るも自由・切らぬも自由
読み方は自由自在。
あなたなりの読み方で、
議会だよりを楽しんで！